

モンキレンチ 基本

《用途》

モンキレンチはボルト・ナットの締め付けや、取り外すときに使います。

《特徴》

モンキレンチは、ウォームとラックの噛み合わせで、口の開閉を調整し、ボルト・ナットの大きさに合わせて使用することができます。

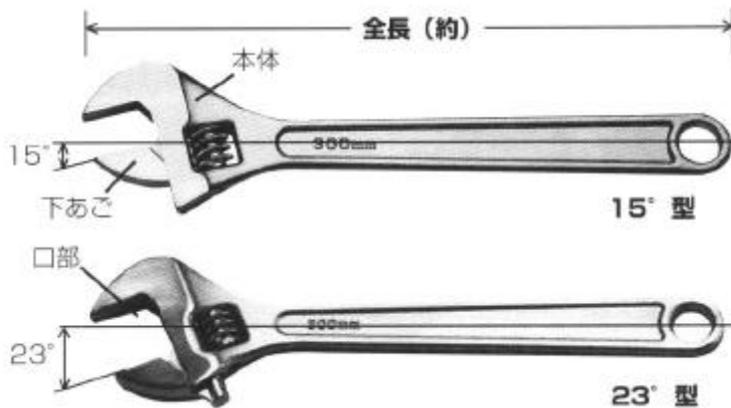
口の傾き角度が、15度と23度のものがあります。全体の長さで、下表の種類があります。

呼び寸法	100	150	200	250	300	375	450	600
全長	110	160	210	260	310	385	460	610

使い方

モンキレンチを使うときは、用途に最適なものを、強力級(H級) 普通級(N級) 部品鍛造品(P級)の中から選び、回すボルト・ナットに合った寸法のものを使うことが大切です。これによって、作業能率の向上と、身の安全も確保されます。

モンキレンチを使うときには、まず柄をしっかりと握ること。そして、回すときには、下あごの方向に回してください。



モンキレンチを使うときには、回すボルトの頭またはナットの側面へ、モンキレンチのあごの面がぴったりとつくまでウォームで締めてください。(図1参照)

図1



ボルト・ナットを回すときには、必ずモンキレンチをボルト・ナットに直角の形で、平行に回してください。(図2参照)ボルト・ナットを少し押し付けるようにして回すと、外れにくくなります。

図2



注) 普通六角ボルトの時とする。(参考資料です。)

モンキレンチの寸法(mm)	あごをいっぱいを開いた時の寸法(mm)	回すボルト・ナットの呼び寸法(mm)の最大
100	13	8
150	20	12
200	24	16
250	29	18
300	34	22
375	44	27
450	55	36
600	65	42

！警告！

非絶縁工具です。
電気の通じた回路へは、使用しないでください。

！注意！

1. 逆の方向に回すと、下あごに無理な力が掛かり、壊れる原因になります。(図3参照)
2. ボルトの頭またはナットとモンキレンチの間にすき間ができますと、回すために力を入れた時に、モンキレンチが外れて怪我をすることがあります。(図4参照)
3. モンキレンチを、ボルト・ナットに対して傾けて使用しないでください。滑ったり、外れたりします。(図5参照)
4. モンキレンチの柄に、パイプを差し込んで回すと、大きな力が掛かって壊れる原因になりますので使用しないでください。(図6参照)
5. モンキレンチの柄に、ハンマーなどで衝撃を与えないでください。(図7参照)
6. 用途以外には使用しないでください。

図3



図4



図5



図6



図7

